

足底感覚評価装置の研究開発

(株)飛鳥電機製作所・篤友会リハビリテーションクリニック・昭和大学保健医療学部・(独)産業技術総合研究所

糖尿病性神経障害の早期発見・重症化予防をめざして

生活習慣病である糖尿病は多くの合併症を伴いますが、神経障害は最も早期に出現します。糖尿病性神経障害は自覚しづらい上、重症化すると痛みを感じなくなる危険があります。神経障害の有無や重症度の簡便かつ短時間での測定が課題となっているため、専門知識がない者でも短時間で容易に再現性の高い神経障害評価が可能で、糖尿病のスクリーニングや重症度把握に効果を発揮する装置を開発中です。本装置による糖尿病の早期発見や重症化予防が可能となれば、多大な国民医療費の抑制につながると期待できます。

生活習慣病のイメージ

出典：厚生労働省生活習慣病対策室



日本人の糖尿病(2011年のデータ)

成人人口(20～79歳)	9534万人
糖尿病人口(20～79歳)	1070万人
糖尿病に関連する死亡	8万人
世界糖尿病人口のワースト6位	

出典：国際糖尿病連合 (IDF)
「糖尿病アトラス第5版」(2011年)

世界の糖尿病人口ワースト5

2011年	3億6620万人
2030年	5億5180万人
糖尿病人口	世界ワースト5
1位	中国 9000万人
2位	インド 6130万人
3位	米国 2370万人
4位	ロシア 1260万人
5位	ブラジル 1240万人

出典：国際糖尿病連合 (IDF)
「糖尿病アトラス第5版」(2011年)

- 健康寿命の延伸・QOL維持向上
- 高齢者・生活習慣病患者の介護・医療費用の抑制